



会長 石橋 信雄 青少年奉仕 小井田和哉  
副会長 正部家光彦 幹事 中村 稔彦  
クラブ奉仕 正部家光彦 会計 山村 和芳  
会長エレクト 正部家光彦 会場監督 築館 智大  
職業奉仕 道尻 誠助 直前会長 橋本八右衛門  
社会奉仕 深澤 隆 副幹事 増田 敏  
国際奉仕 紺野 広 会計補佐 松本 剛典

例会日 毎週水曜日 12:30 例会場 八戸グランドホテル  
事務所 八戸市番町14 八戸グランドホテル内  
電話 (43) 0608 FAX (43) 0661  
e-mail rc8@vc.hi-net.ne.jp  
http://hachinohe-rotary.org/  
会報・公共イメージ向上委員長 渡辺 孝 同副委員長 峯 正一  
同委員 宮下 悟 同委員 松林 拓司

### 国際ロータリー会長メッセージ — 2025~26 — 八戸ロータリークラブ スローガン

よいことのために手を取りあおう

感謝し、祝い、新たな一歩となる道標へ

国際ロータリー会長 フランチェスコ・アレツォ

八戸ロータリークラブ会長 石橋 信雄

## 2月 は 平和と紛争予防／紛争解決月間です

第3385回例会 2026.2.4

### 会長要件 石橋 信雄 会長



「奉仕の理想」の“御国に捧げよう”というところは最初に作詞された方は“世界に捧げる”という形で考えていたそうですが、その当時の戦前の時勢で“御国に”ということになったそうです。お亡くなりになる前に、もし変えられるのであれば“世界に捧げる”という形にして欲しいという話をされていたそうですが、現在もそのままです。「奉仕の理想」はロータリーの中でも最も歌われるロータリーソングだと思います。

暖かい朝を迎えました。寒い日が続いておりましたが、きょうから数日は気温が緩むようです。路上の雪も融けて、ほぼなくなるのではと思っています。一方、青森市の中心部の積雪は一時180cmを超えて、陸上自衛隊の災害派遣が始まっています。日常の生活や企業活動にも多くの影響が出ているようです。心からお見舞い申し上げます。暦の上では立春ということですので、寒さや雪が落ち着き、温かい春に向かっていくことを期待します。

先日の日曜日に「第21回八戸市百人一首小中学生大会」が南部会館で開催されました。この後、深澤社会奉仕委員長から報告がありますが、小中学生25名の参加の元、無事開催することができました。八戸ロータリークラブのメンバーの皆さんも21名参加、お手伝いいただきスムーズに運営ができ、本当にありがとうございました。お休みの日曜日に朝から駆けつけていただき、2時過ぎまでご協力いただいたメンバーの皆さんに感謝申し上げます。静寂した空気の中、小中学生の皆さんの研ぎ澄まされた動きに競技の奥深さを感じました。先週の工大二高の和田先生の卓話をお聞きし、予習ができたからかも知れませんが、百人一首は本当にいいものだと改めて認識した次第です。

本日のプログラムはロータリーの友委員会の竹石さんからロータリーの友の紹介と葛西さんからの新会員卓話です。大変楽しみにしていますので、どうぞよろしく願いいたします。

2月のロータリー月間テーマは**平和構築と紛争予防月間**です。たいへん難しいテーマかと思いますが。ロータリーの友2月号について

は、このあと竹石さんからご紹介がありますが、冒頭にフランチェスコR I会長のメッセージがあります。その中で「平和とは単に戦争がない状態を指すのではなく、飢餓や不安定な生活に苦しみ、家族を支えることができない日々は真の平和とはいえない。」とおっしゃっておられます。この部分でロータリーに行動することを求めていらっしゃるようです。また、「平和への第一歩は知ることだ。」とも述べられています。3つの事例も掲げられていますので、ぜひ皆さんもフランチェスコ会長のメッセージを一読し、この地域で何が必要なのかを考える機会にしたいと考えています。

入会式：小野寺 洋さん

開発電業株式会社代表取締役

推薦者：紺野広さん、道尻誠助さん、浜谷英幸さん、石橋信雄さん、松本剛典さん

推薦者からの紹介 紺野 広さん



小野寺さんは54才、法人会員としての入会になります。開発電業株式会社様は八戸製錬株式会社、むつ小河原石油備蓄株式会社等の大企業を主な取引先としています。小野寺さんは創業から約60年堅調に業績を伸ばしている会社の舵取りをされています。お父さんは現在は地熱発電の開発に普請されておられ、同社事業を發展させてこられた功労者ですが、ある意味夢追い人のような一面を持ち合わせた方であり、小野寺さんは従前からの事業を守り發展させていくという点ではご苦勞をされているかもしれません。開発電業株式会社はロータリーの職業奉仕の理念にも通じる企業活動を通じて地域社会の進展に貢献することを経営理念としておられます。

そしてご本人のお人柄はとても温厚で、奉仕活動の面などでもわれわれと共にゆっくと歩んで行ける方と感じています。ゴルフもひじょうにお上手です。なにとぞわれわれのお仲間として迎えていただき、ご指導ご鞭撻

を賜りたくお願いいたします。

・会員章伝達  
新会員挨拶

小野寺 洋さん

開発電業株式会社代表取締役



今回、紺野先生のご紹介により伝統と格式ある八戸ロータリークラブに入会することができ、大変光榮に思っております。現在、父の跡を継いで電気工事の会社をやっています。主に工場のプラント関係の工事をやっています。最近では再生可能エネルギー関係の風車や太陽光発電のメンテナンス、小規模ではありますが風力発電所と太陽光発電所を運営してやっています。

これから皆さんにいろいろ教えていただきながら、このクラブを盛り立てていく一助になればと考えておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

これから皆さんにいろいろ教えていただきながら、このクラブを盛り立てていく一助になればと考えておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

## 幹事報告 中村 稔彦 幹事



かるた大会にご参加いただきありがとうございました。無事に終了いたしました。おそらくまた来年もあるかと思っておりますので、その時にはどうぞよろしくお願いいたします。

○2月ロータリーレート 1ドル=154円

○2月14日(土) 八戸東ロータリークラブ65周年記念式典がパークホテルであります。現在22名ご参加です。よろしくお願ひします。

○2月17日(火) 新会員応援 I DM 18:30～海の台所 稲瀬 会費6,000円、2/10締切

○3月14日(土) 中グループ I M 14:00～ホテル青森 登録料4,000円 懇親会費7,000円 2/11締切

○3月15日(日) 野辺地 R C 60周年記念式典・祝賀会 登録料13,000円 2/11締切

○2月5日(木) 事務局休暇

会員のお祝い

- 会員誕生日 村館珠樹さん
- パートナー誕生日  
種市良雄・接待一雄・松本剛典さん
- 結婚記念日 小野 恭・小井田和哉さん

## 委員会報告

親睦・会場委員会

高木康弘委員



○ニコニコボックスの報告

- 奥様誕生祝 松本剛典さん
- 結婚記念日

小井田和哉さん

浜谷英幸さん

小野寺さんをよろしくお願  
いします。

石橋信雄さん ロータリーの友の竹石さん、  
新会員卓話の葛西さん楽しみ  
です。よろしくお願いします。

上村奉樹 } 竹石さん、ロータリーの友よ  
佐藤恒寛さん } ろしくお願いします。

小田山紀暢 } 葛西さん新会員卓話、楽し  
栗谷川敏彦さん } みにしています！

橋本八右衛門さん 本日立春です。立春朝搾<sup>あさしば</sup>  
り、詰めてきました。直  
売所でこっそり売ってお  
りますので、是非ご利用  
下さいませ！

かるた大会報告

社会奉仕委員会 深澤 隆委員長



2月1日に第21回八戸市百  
人一首小中学生大会が南部会  
館で開催されました。当初は  
ちらし取りの部が10名でした  
が2名欠席、中学生は5人。

競技大会で小学生5人、中学生8人参加の熱  
い大会でした。会長からネーミングライツの  
吉田さんを前にしてYSアリーナより盛り上  
がりましょうという挨拶がありました。吉  
田さんの顔は曇っていなかったので大丈夫か

と思います。

まずちらし取りから開催されました。小学  
生が遊びの感覚でやっているのかなと思っ  
ていましたが、負けた女の子が涙を浮かべな  
がらお母さんの元にかけてつたりと、勝負の世  
界でもあるのかなと思いながら見ていました。  
競技大会は小学生、中学生に分かれて3試合  
行われました。最後の3試合目の決勝戦では  
順位決定の試合が行われました。すごく白熱  
した大会で逆転で優勝者が決まりました。

最後の会長あいさつでは来年もやりますと  
はっきりおっしゃっていたと思いますが、そ  
の後、南部会館を予約していますので、第22  
回も開催されることが決まっている状態です。  
当初参加者が少なく、と心配されましたが、  
白熱した競技ができるくらいお集まりいた  
だき、会員の皆様のご協力のもと大会が無事  
に開催できましたことをご報告いたします。

お手伝いに来てくださるロータリアンもち  
らし取りをやって、けっこう白熱した状態  
でした。ロータリーの中で百人一首クラブを  
作るまでにはいかないと思いますが、こうい  
った地域貢献に係わる大会に係わることで  
幸いだと思っています。来年以降も引き続  
きご協力お願いいたします。

ロータリーの友委員会

竹石 雄さん



お手元のロータリーの友2  
月号をご覧ください。

P1 2月は平和構築と紛争  
予防月間です。2月23日は  
ロータリー創立記念日です。

この月間に関連した箇所にはフォーカスしな  
らご紹介いたします。

P5 特集「平和を願うことばの記憶」：

2つの記録が掲載されています。「そも  
そも戦争が起きると自分の身に何が起きる  
のか。世界の平和を希求するロータリーの  
会員としてかつて戦争を経験した先輩の皆  
さんのことばに耳を傾け、それを記録し、  
後世に伝えてみてはどうでしょう。」

P6 古座ロータリークラブ名誉会員の諸見  
里康弘さんの「ある少年通信兵の沖縄戦」

です。ただご本人は寄稿後の2025年12月6日に96才でご逝去されたそうです。心よりお悔やみを申し上げます。P 6～P 12まで7ページにわたって壮絶な体験が綿々と綴られています。16才で軍の通信兵になり、凄惨な沖縄戦の中で同級生や同僚の死を目の当たりにしながら捕虜となってハワイに連行。最終的に18才で帰国しています。この中から4点ほど戦争の凄惨さを物語るようなできごとを紹介させていただきます。

- P 7 1945年4月から本島へのアメリカ艦船による砲撃がすごく、1坪に1発の密度で撃ち込まれた。
- P 8 アメリカ軍から白旗を揚げながら逃げ回って、防空壕に逃げ込んできた将校がいた。尋問され、スパイとみなされ銃殺され、日本刀で首をはねられた。敵と交戦しないうちに味方同士で殺し合いが始まってしまった。
- P 9 ご自身が砲撃で左足の腿の肉が剥がれ骨が露出するような怪我を負った。そういった中、那覇から南部へ避難撤退するときにある将校から歩けるならついてこい、歩けないなら自決しなさいと言われ、手りゅう弾とわずかばかりの食糧を与えられた。
- P 10 友人がアメリカ兵の死体のかばんの中から缶詰みたいなものを拾ってきた。缶詰か爆弾かわからないけれども、弾薬なら自決、缶詰ならもうけと言って開けて、無事おいしいコンビーフだった。

というようなことが綴られています。最後に次のように書かれています。

P 12 敗戦の結果、沖縄戦だけで約20万人が犠牲になった。あれから80年もの歳月が流れ人々は豊かさに慣れ、戦争体験も風化しつつある。戦争は簡単に始めることができる。そして戦争は人だけが止めることができる。特に若い人たちは戦争に加担しないよう民主的に争いのない世の中を作りたい。

P 13 2つ目は三次中央ロータリークラブ和

田ひとみさんの「昭和の思い出—平田会員の戦中戦後」です。これは2025年が昭和100年に当たることを受け、三次中央ロータリークラブ会報に「昭和の思い出」という欄を設けた際に、初筆で91才の平田会員だということをお願いしたときのものだそうです。

お願いしたときの平田さんの第一声が疎開に来ていた子どものことだったそうで、もっとドラマチックな話を期待して和田さんとして拍子抜けしたそうです。後で頂戴した文章とその当時の思いを知って、心境が一変したと書かれています。平田さんからいただいた「人生90年の思い出」は次のような内容です。

「戦時中、広島県の現在の三次市に広島市の小学校から疎開してきた同級生たちがいたそうです。広島市の中心地の子どもたちだったので、自分たちとは大きな文化の隔たりがあった。例えば、彼らは靴だったが自分たちは藁草履だったというふうと一緒に遊んだこともなかったそうです。

そうした中、1945年8月になり、広島に原爆が投下され、その子たちがやってきた小学校は爆心地から460mしか離れていなかった。家族は当然犠牲になり、遠目に見るだけの仲間だったそうですが、今後の彼らの身の上のことを思うとひどく心が塞いでしまった。その後、子どもたちは施設に送られて過ごすことになったわけですが、91年の生涯を振り返ると、彼らのことが真っ先に脳裏に浮かぶ。」そのような内容だったそうです。

和田さんは最初に軽々しく思ってしまったことに自分の至らなさを感じると共に、戦争がもたらす惨めさ、悲しみを思い知ることになったということです。

P 3 President's Message : 先ほど石橋会長からも紹介がありましたが、毎月R I会長メッセージが掲載されています。石橋会長からお話が合った通り、平和について紹介されていますので、後ほどご覧ください。

この中で「ロータリーが“知ること”を

大切にしている。ロータリー平和センターや平和フェロー、そしてさまざまな平和教育の取り組みは知識が信頼を生み、地域社会が紛争解決の道を見出す力となることを示している。」

#### P20 ロータリー平和センターについて

R I 会長が日本のロータリー平和センターを来訪という記事です。これは2025年11月21日に横浜で開催されたロータリー研究会の後に、ICU（国際基督教大学）内にある平和センターを訪れたときのものです。

P21 平和センターについていろいろ語られています。世界には7か所ロータリー平和センターがあり、東京はそのうちの1つだそうです。平和センターでプログラミングの教育受け、巣立って行ったフェローの皆さんたちは国際機関、政府、NGO、研究機関などで実務に携わり、各地で活躍をされています。

当然ながらわたしは戦争を知らない年代ですし、日本という平和な国で生まれ育ち生活していますので、正直、平和、戦争といったことにあまり関心を抱いてこなかったのが実態です。年のせいなのか、昨今、世界各地で数々の紛争が起こっています。昨年夏の八戸七夕の短冊には「世界から紛争がなくなりますように」とお願いして、したためるようになってしまいました。こ

れも正直に申し上げますと、ふだんは流し読みしているロータリーの友を今回かなり熟読しました。改めて平和の尊さ、平和とはどういうことかを考えさせていただく良い機会になったと感謝しています。

#### 縦組みP12 ロータリー柳壇

今月は道尻さんが地、上村さんも選ばれています。

道尻さん

「歳重ね 夫婦にっこり 瓜二人」

評：川柳の奥の深さを教えてくれる見本となる句

上村さん

「みやくみやくと 青空に舞う 赤とんぼ」

評：関西万博関連初の句が来た

参考までに調べてみましたが、ロータリー新年度になってからロータリーの友は8回発刊されていますが、道尻さんは6回、上村さんは4回投書されていて、二人揃ってというのは昨年8月に続いて今回で2回目です。

頻繁に選出されているお二人ですが、わたしの興味本位でライバルはいないのか？新年度に限って登場回数だけを調べたところ、天地人に関係なく単なる掲載回数だけで調べたところ、結果、道尻さんの6回に続く5回が2人いました。一人は新潟の吉田ロータリークラブの佐藤良一さん、もう一方は京都の宇治鳳凰ロータリークラブの辻幸男さんです。上村さんは4回で続いています。



## 新 会 員 卓 話



自己紹介と会社の概要と先月の地震の対応、当社からのお願いについてお話させていただきます。

わたしは昭和46年10月4日生まれで現在54才です。出身地は青森市です。雲谷スキー場の麓のひじょうに雪深いところで生まれ育ちました。家族は妻と双子の女の子がいます。子どもたちは今県外で就職して

### 葛 西 史 浩 さん

います。大学にも行かず就職するというひじょうに親孝行な娘たちです。特技は西城秀樹のギャランドゥということで、かれこれ30年くらい歌っていますが、そろそろ歌も振りも完成形に近づいていることです。趣味は猫を飼っていますので調教とフライフィッシング、御朱印集めを楽しんでいます。

うちのネコのスニはオスの5才、ハチワレです。三沢の保護猫会から譲り受けて、今5

年くらいになり、ひじょうにすくすく育っています。節分時には鬼役として活躍しています。

フライフィッシングは30年やっていますが、最近はめっきり行けていません。尺越えのアメマスをつりました。今別の方のひじょうに小さい川でこんな大物が上ってびっくりしました。ヤマメも釣っています。ちゃんとわたしのフライをくわえています。

御朱印は友人から進められて、6年ほど前から集め出しました。出張や旅行がてら集め始め現在67枚。まだまだこれからも集めたいと思っています。御朱印を始めるには伊勢神宮から始めるのが吉とされています。わたしもその話を聞いて伊勢神宮を参拝したときに御朱印を集め出しました。伊勢神宮は天照大神を祀っている日本のすべての神社の中心的存在で、最初にこれをいただくとその後の巡礼がより神聖で特別なものになるという考え方が浸透しているとのこと。伊勢神宮にはおかげ横丁というところがありまして、そこに赤福の本店もあり、その赤福を食べるのも楽しみです。

「常呂神社」は北海道のサロマ湖の隣にある町の神社です。ここはカーリングが有名な町で、ロコソラーレのメンバーもこの町出身です。御朱印はカーリングのスタンプが押されているかわいい御朱印です。「御岩神社」は茨城県日立市にある神社です。昔、宇宙飛行士が宇宙から地球を見たときに一点だけ光っているところがあるというところがこの御岩神社らしく、パワースポットしてひじょうに有名で賑わっているところです。

「大宰府天満宮」も有名なところですが、梅ヶ枝餅を食べながら参拝するのが楽しみです。

「尖閣神社」は本当は尖閣諸島の魚釣島に建立したそうですが、外国人から襲撃にあって壊されて、やむなく石垣島に移したという話を伺いました。

八戸の「おがみ神社」「新羅神社」「神明宮」は去年いただきましたが、太公望が書かれていてわたしは気に入っています。去年、三社大祭に参加させていただき、この太公望

の山車を東北電力グループで納めていただきひじょうにありがたいと思っています。

わたしが東北電力に入ってから移動歴ですが、平成6年に五所川原営業所に入社し、そこから八戸が12か所目です。単身赴任も今12年目に突入で、単身赴任生活をエンジョイしています。若い頃はけっこう県内の営業所を回ったりしていましたが、中盤は青森支店と仙台本店を往復するような形で勤務しました。

特に印象深かったのは、平成25年に宮古営業所に行きましたが、その時はひじょうに復興で忙しい時期でした。三陸沿岸道、宮古盛岡横断道路などこちらの建設が急ピッチで進められ、ひじょうに忙しい思いをしていたので、この大漁旗を作って、掲げてみんなで頑張ろうということでやりました。宮古ではこれは大漁旗ではなく“フライ旗”と呼ぶそうです。

当社の概要ですが、2020年3月までですが、発電と送配電と小売り。竹石雄さんと葛西と堤幸治さんは一緒に仕事をしていて、一貫体制で仕事をしていました。電力システム改革の関係でわたしの送配業務が離され、堤さんと竹石さんは仲良しですが、わたしだけ一人離されました。電気料金の関係は竹石さんと堤さんでやっていて、われわれの方は送配電システムネットワーク使用料をいただいて運営しています。電気料金の関係、苦情などは竹石さんや堤さんのほうにさせていただければと思います。

八戸電力センターは2か所で運営しています。堤町本館と北インターのほうに送電源業務を行っているところがあります。堤町では主に営業・総務関係、配電関係で71名くらいいます。北インターは変電と送電で55名くらいと、こんな体制で業務を行っています。

先月の青森県東方沖地震ですが、地震発生直後は、われわれは震度6以上は自動出社になっていますので、だいぶ酔っ払っていましたが、すぐに会社に駆けつけて社員の安否確認、家族の安否確認を行った後にいろいろ方針を立てながら対応に当たりました。幸い、

今回の地震は広域的な停電がなかったのがひじょうに大きかったです、設備的にはけっこうやられました。

八戸市地図で何かしらマーキングされているところは被害をうけたところです。多かったのは引き込み関係です。各家庭に入れさせてもらっている引き込み線が地震の揺れで外れて下に落ちてしまうのが900件くらい発生しました。その辺の規模が大きかったので応援をもらって、対応に当たりました。青森、弘前、三沢から16人の社員の応援をいただいたり、東北・新潟七県配電工事株式会社から津軽方面、十和田市方面から応援をいただいて復旧にあたりました。また、変電のほうも設備被害を受け、ユアテック宮城支社から10名ほど応援いただいて復旧にあたりました。引き込み線を家屋側で止めているところが外れて地上に落ちるなどの被害が900軒くらい発生しました。工事会社に作業をお願いして、幸いに年末までには一定の復旧が終わったと

いうことで、年末年始はゆっくり休めたところですよ。

最後に当社からのお願いです。当社で停電情報アプリを作っていますので、これをスマホに入れていただくと、停電をほぼリアルタイムで、どこの地域が停電している、どんな原因で停電している、いつごろ復旧できるという情報がこのアプリを入れると分かります。ぜひ皆さんもアプリを導入していただければと思います。東北と新潟がこれでわかります。このアプリにある設備情報のトラブルをチャットでやれるところがあります。うちの会社はなかなかコールセンターにつながりにくいところがあるので、チャットで送ってもらうと早い復旧につながると思います。例えば電線が切れている、樹木に当たっている、カラスが巣を作っているなどの情報を写真も遅れますので、ぜひこのチャット機能を使ってお知らせいただければひじょうに助かります。

出 席 報 告						出席委員会		
第3385回例会（2月4日）			第3383回例会（1月21日）					
出席率		58.2%	出席率		58.5%	修正出席率	66.2%	
総会員数		69名	出席数		39名	メイクアップした人数		5名
出席義務会員	出席免除会員	欠席数	出席義務会員	出席免除会員	欠席数			
67名	2名	28名	65名	3名	22名			